

市民が主役の市政改革を 布目ゆきお 市政直行便

2004年6月
NO. 2

布目ゆきお後援会発行

〒380-0961

長野市安茂里小市 1 - 4 - 1 0

自宅電話 227-3537 FAX 227-3897

ホームページアドレス

<http://www.ne.jp/asahi/nagano/nunome>

E-mail : vj6y-nnm@asahi-net.or.jp

連絡先：電話 235-2727 FAX234-6035

社会新報 号外 発行所：社会民主党全国連合機関誌宣伝局〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-8-1 電話 03(3580)1171 振替 0014-1-3203 定価¥180 送料¥160

安茂里の土木事業現地調査に同行 道路や河川、130箇所を点検視察

5月24日～25日、安茂里地区内で行われた「現地調査」に同行しました。これは、それぞれの区の土木事業の要望に沿って、区で市の道路課・維持課・河川課の皆さんと一緒に現場を調査し、優先順位をつけて工事を進めるためのものです。先輩議員である平瀬氏と一緒に、区長さんらの立会いのもと、丸2日間をかけて安茂里を一回り、130箇所余りの現場を調査しました。道路の拡幅や舗装のし直し、防護柵の設置、側溝の整備



など、安全で安心、住みよい環境づくりに向

マンボ橋の用水路に子どもが転落しないよう防護柵を。車の往来も多く、通学路となっているだけに、道路改良を含めて地権者との話し合いを進めることに。



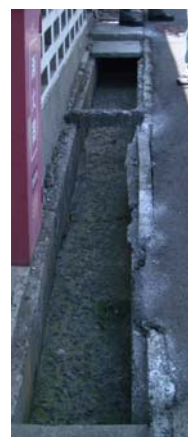
けた予算付けとなるもので、およそ一地区あたり一箇所が目途となるそうです。とくに「崩れそうな地盤の補強を」「用水沿いの通学路に柵の設置を」との声は切実です。

土木事業については、住民に身近な小規模工事として、一区あたり年100万円を目安に、安茂里を含めた中部地区（道路課の場合＝第三・第四・第五、芹田、更北、川中島、安茂里の地区）で2億円の支出が計上され、区住民の要望に応じて、工事が行われます。財政事情の厳しさから「要望に工事の実施が追いつかないのが実情」（長野市）とのことですが、緊急に改良工事が必要と思われる箇所も多く、今後、工事の実施時期などについてチェックし、住民の皆さんに報告していきたいと思います。

小市の用水に柵をとの要望、ガードレールをつけると車の往来に支障をきたすこともあり、当面、住民の協議と合意を急ぐことに。



「これはすぐに埋めましょう」と調査の途中で、応急措置として市道の穴を埋める市職員の皆さん。ご苦労様です。



杏花台団地、崩れてきているU字溝の改修を。

6月議会は15日～29日

長野市議会6月定例会は15日から29日の日程です。8,800万円の補正予算の審議や、来年1月にスタートする合併への具体的な取組が主な内容です。

3月議会

1,271億4,700万円 H16年度予算案が可決

3月市議会定例会が3月1日から24日までの24日間開かれました。3月議会は、平成16年度の1年間に市が実施する仕事の予算を決める議会です。言いかえれば、1年間にわたって税金をどんな事業に優先的に使うのかを決める大切な議会です。1,271億4,700万円（対前年度当初予算比3.2%増）の予算が原案通り可決されました。（詳細は『市議会だより』を参照してください）

私は、12月議会に続いて2度目の質問を行いました。チェックと提案を信条に、ゴミ処理問題と消費生活政策の充実などを主なテーマとしました。



知っていますか？ 広域連合で新しいゴミ焼却施設の建設

建設地住民との合意形成が鍵

現在、大豆島・松岡にある清掃センターが、既に耐用年数を超えていることなどから、長野広域連合の中で、広域の市町村で役割分担をしてごみ処理を進めることとし、H23年度を目標に長野市に新しく建設するゴミ処理施設の建設地の検討が始まっています。清掃センターをはじめとするゴミ処理施設が一極集中している松岡地区は、都市化・住宅地化が進んでいることから、松岡に集中せず分散してもらいたいとの声が上がっています。建設される処理施設は日量450トンの処理能力を持つ大型処理炉とされていますが、合併も見据え市内に分散して複数の処理施設を建設する道はないのかと問いましたが、既定方針として変更は難しいようです。

「迷惑施設」といわれがちなゴミ処理施設

の建設は、住民の反対運動に直面します。必要な施設であることは論を待ちませんから、大切なことは地区住民の合意と納得です。同時に、ゴミの発生を抑制し減量を進めながら、自治体「公」の直営のもとに環境に与える影響を最小限に抑える模範的な施設を整備し管理運営が行われることが重要です。

質問では、ゴミ問題は市民一人一人の課題として責任を分かち合っていくことが大事なことから、市民全体でゴミ問題を考え、対処していくために市民参加による「ゴミ問題市民会議」の設置も提案しました。

これらの視点で、新しい処理施設の建設候補地決定の行方を見守り、建設にあたっての環境調査の徹底を求め続けていきたいと思っています。

廃プラ施設 を視察

目立つ異物・汚れ、分別徹底が更なる課題 一旦はリサイクル、けれど7割は焼却へ？



4月から始まったプラスチック分別。「プラスチック製容器包装」は家庭ゴミ全体の約3分の1の容積を占めています。分別にはなかなか手間がかかりますが、いざ分別を始めると可燃ごみが減ったことを実感されているのではないのでしょうか。我が家でもそうです。

全市でのプラ分別を目前にした3月議会で、圧縮梱包施設の安全性について質問しました。完成間近の圧縮梱包施設について、異物混入による化学反応、有害物質の発生をはじめとする複合汚染を心配する声があり、モデル地区における事業では、いわゆる異物が重量で

約12%、汚れを落としていないプラ容器包装が約7%、プラ商品が約2%あったとされているからです。素材別の分別に向けた取り組みが徹底されないと、複合汚染の不安は解消されません。

◆「住民不安の除去に万全期す」と答弁

市では、「住民不安については環境保全協定を結び、これを遵守すること」「25項目の物質について環境モニタリングを実施、安全性の確保に万全を期す」としました。

これらのことを検証するため、4月23日に会派「市民ネット」で大豆島・松岡の清掃センター内に建設され稼働しているプラスチック圧縮梱包施設を視察しました。この施設では、家庭から出された容器包装のプラスチックゴミを袋から出し、手作業による選別で異物を取り除き、圧縮・梱包し、リサイクル業者が引き渡します。運営は日立に委託されています。強力な換気装置のおかげか、異臭はほとんどしないことが印象的でした。

手作業で異物を選別、

「リサイクルしても焼却剤に」には驚き

驚いたのは、手作業による選別です。ベルトコンベアー1台に4人の職員がつき切りで流れてくるゴミからプラスチック容器包装以外の異物を取り除く工程です。残飯と一緒の容器やヤカンなどの金属製品、プラスチック

製品、ストッキングなどが混ざっています。家庭の段階での分別の徹底がもっと必要であると改めて痛感しました。

リサイクルでは77%が川崎にある日本鋼管に、23%が市内の飯山陸送に引き取られ、日本鋼管ではコークスの代替品となる燃焼補助剤に再加工され、飯山陸送ではプラスチック製の杭などに再資源化されているとのこと。乱暴な言い方ですが、最終的には7割が焼却されてしまう事実にとちょっと驚き。

リサイクルに年間2400万円の経費

プラスチック製容器包装のリサイクル経費は1トンあたり78,000円、その8%を自治体が負担、長野市の場合、年間4,200トン分2,400万円を負担することになります。

長野市民は年間一人当たり280kg(資源ゴミを含む)のゴミを出しています。大量消費・大量廃棄を改め、家庭からできるだけゴミを出さない一人一人の努力が大切なことを痛感した一日でした。



「燃やさない、埋めない」…県廃棄物条例の行方は 県議会政策条例研修会に参加して

長野県が検討を進めている「県廃棄物条例案」について、県民サイド・市町村サイドから広く研究しようと6月1日に県議会の十会派が共同で呼びかけた「政策条例研修会」のシンポジウムに参加しました。

県が公表している条例骨子案は、「できるだけ燃やさない、できるだけ埋め立てない」ことを目標にゴミの発生を抑制しようとするもので、市町村が一般廃棄物処理施設を建設する際に知事の「承認」が必要とし、市町村から「自治事務への介入・侵害」との批判と反発を招いてきました。

このまま条例ができると、長野市が広域連合で準備している新しいゴミ焼却施設の建設がご破算になることも予想され、十分な審議

と検討が求められています。県が進めるべき産業廃棄物処理施設の建設が中信地区も下伊那郡阿智村も頓挫しているだけに、なおさらのことです。

家庭も事業者もゴミを少なくし、できるだけ燃やさないように、できるだけ埋め立てないようにすることは大切なことです。しかし、同時に毎日排出されるゴミをどう処理するか対策も必要不可欠です。しかも、一般廃棄物の処理は市町村の自治事務(市町村が責任を持つ仕事)となっていますから、「県の承認」という規定が一方的な県の介入となることが懸念されます。理想・目的に向かって十分な意見交換を行い、協働して対策を講じる方法を見出すべきだと思います。

総務委員会で行政視察…

所属する総務委員会で5月12日から二泊三日で、札幌市～仙台市～埼玉・志木市の自治体視察に行きました。札幌市では市民のための「コール・センター」、仙台市では情報セキュリティ、志木市では行政パートナー制度など、先進的な取り組みを研修してきました。「ぜひ長野でも」と思ったのは、札幌市の「コール・センター」サービス。市役所への問い合わせについて「たらい回し」とならないよう、電話で即答するサービスです。民間委託されていますが、市職員のノウハウを蓄積、それを質問と答えにデータベース化し、市民の疑問や問い合わせにこたえるもので、市民からは好評なようです。また志木市の制度は市の業務を市民によって行うもので、例えば総合受付は市民が担っています(詳しい報告は改めて)。都市内分権、市民参加を具体化していく上で、大きなヒントになる視察でした。研鑽を深め、実現に向けて取り組みたいと思います。

悪質業者による消費トラブル続発、 「消費者の権利」盛り込んだ市条例制定を提案

ヤミ金融問題をはじめ「オレオレ詐欺」や架空請求・不当請求など悪質な業者による消費トラブルが急増しています。市の消費生活センターへの相談件数も年毎に倍増し、昨年度では4000件を上回ることに。私自身、架空請求や不当請求の相談をよく受けます。

世の中、便利になって豊かな消費生活を送るようになった反面、情報力や交渉力の無さから問題がおきたときに「泣き寝入り」してしまうケースが後を絶ちません。

消費者行政では先進的とされる東京都では「消費者の権利」として「生命及び健康を侵されない権利」「適正な表示を行わせる権利」「不当な取引条件を強制されず、不適正な取引行為を行わせな

い権利」「不当に受けた被害から救済される権利」「情報を速やかに提供される権利」「消費者教育を受ける権利」など6つの権利を確立し、総合的な消費者支援政策を展開しています。長野市でも、積極的に「消費者の権利」を位置づけ、権利を侵す事業者に対し適正な規制をかけ、よって権利を回復する措置等を盛りこんだ条例を制定し、市民の参加と協力のもとに、消費者の安全を守り、被害の防止と救済を図るとともに、消費者の自主的な行動を支援していく消費者支援体制をつくっていくこと、さらに消費生活センターの拡充を提案しました。

消費生活トラブルの相談はお気軽にどうぞ
電話：227-3537（布目宅）

安全でおいしい給食を、利益優先とならぬように 民間委託された第二学校給食センターを視察



この4月から調理業務が民間に委託された第二学校給食センターについて、「委託から2ヶ月、その現状は？」をテーマに5月30日、会派「市民ネット」で訪問視察しました。市内には三つの給食センターがあり、全体で市内の小学校・中学校70校、3万3千食の給食をつくっています。第二は篠ノ井東福寺にあり、市内南部の学校給食をカバー、21校分・8200食を担当しています。H15年に全面改築され、最新式の給食センターです。因みに安茂里地区の学校は青木島町の第一学校給食センター。

安全性・質は低下しないのか

調理業務等について「行政サービスの質は低下させない、コスト削減を図る」として、約1億3800万円の契約で東京に本社を置く「東洋食品株式会社」に委託されたもので、52人の社員（正社員22人・準社員20人・パート10人）が調理員や管理栄養士として働いています。3月まで市直営のセンターで嘱託職員として勤務していた皆さんは、26人が「東洋食品」に採用され、リストラされた人はおらず雇用が継続しているとのこと、まずは一安心。経費は今のところ、契約段階で6000万円近くコストが削減されたとのことですが、子どもたちの「食」の問題だけに、委託先が利益優先とならないように、かつ安全・安心のサービスが低下しないようこれからのチェッ

クが大事です。

本格的な検証はこれから...

民間委託されて改善された点、課題となる点について所長や栄養士の皆さんに聞きましたが、「食材購入や献立作り、管理運営は従来通り市が行っている。まだ2ヶ月で何ともいえないが、朝7時半には出勤、時間の取り組み

が柔軟になった」とのこと、全体的な検証にはまだ時間が必要なようです。ただ現場での指示連絡方法が変わったとのこと、献立に基づいた

栄養士の指示が、今までは調理の現場で栄養士と調理員の皆さんが相対で相談していたものが、栄養士からの「指示書」というペーパーで民間会社の調理員に伝達・徹底する仕組みに変化、これがスムーズに機能するかも今後の課題といえそうです。

市内産の食材を消費する「地産地消」の促進も求められているところですが、センターでは、夏休みまでシステム化をめざすとしています。

今回の視察で小学校高学年用の給食を試食しました。値段は253円。ご馳走様でした。



編集後記 本来3月議会報告となる市政直行便第2号は随分と遅れてしまいました。新年度を迎えた4月、安茂里地区の各区の総会をはじめ、諸団体の総会などさまざまな行事に参加させていただき、地域の課題を学ぶことができました。皆さんの声と期待を糧にして、市政に臨んでまいります。どうぞご意見を届けてください。（布）

